

『みんなで自然環境の保全について考えてみよう』

佐賀関町から蒲江町までの豊後水道に接している地域のほとんどは、日豊海岸国定公園及び豊後水道県立自然公園に指定されています。自然公園に指定されている地域では、建物や電柱等を建てる際に、自然環境や景観の保全のため、法律により許可をとったり、届出をする必要があります。

地域で生活している皆さんが、海岸部を中心として美化清掃などのボランティア活動を実施しており、自然公園やその他の地域においても快適に利用できるように自然環境を守っています。

地域で生活していない私たち—余暇レクリエーションのために自然を利用する人たちなど—は、自然環境を保全するためにどのようなことができるのでしょうか？

私たちにもできることを考えてみました。



岬や島の林内に多いノシランの実

『ごみは捨てない』

自然を利用する人の最低限のマナーです。みんなが「来た時よりも美しく」して帰るようになれば、自然がごみで汚されることもありません。また、キャンプや魚釣りなどの余暇レクリエーションのために自然を利用する際には、自然環境に悪い影響を与えないように気をつけて行動するようにしましょう。

もともと自然界に存在しないプラスチックなどのごみは微生物が分解できないので自然に帰ることはなく、いつまでもごみはそこにあるのです。海にごみを捨てることは、海を汚すことにほかならず、あるものは漂流してやがて美しい砂浜に打ち上げられ、砂浜を汚します。



砂浜に打ち上げられたごみ

蒲江の自然について

『むやみに生物をとらない』

自然学習や学術研究を行う時は、必要なもののみ採取するように心がけましょう。

法律で採取が禁止されているものはもちろん採取してはいけません。

『その地域にいない動植物を持ちこまない』

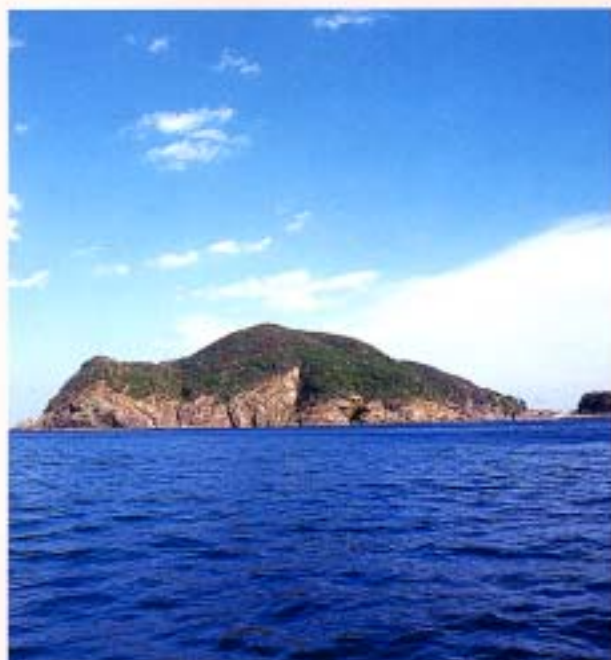
周辺を海で囲まれた島は、陸とつながっていないためにその島で一つの生態系をつくっています。ニュージーランドでは、イギリスからの移住者が狩猟用にミンクなどの島にいなかった生物を移入したため異常に繁殖し、生態系が大きく変わりました。日本では最近、池や湖などで外国から持ちこまれたブラックバスが異常に繁殖し、生態系が大きく変わったことが問題となっています。

『砂浜に車を持ち入れない』

水質が悪化することはもちろん、砂浜で生息している生物の環境を大きく変えることとなり、生態系に大きな影響を及ぼします。

ある地域では、海亀の赤ちゃんが車のタイヤの跡に落ち込み、這い上がることでできずに海にたどりつけなかったということが報告されています。

自然環境を保全するために、私たちでできることはほかにありませんか？
友だちやクラスの人々と話し合ってみましょう。



海に浮かぶ深島



数年ぶりに海亀の産卵が確認された元亀海岸